

2012  
3月号

念仏のこころに生きる生活を

高岡教区

# 教区報

## 教区門徒総代会が各ブロックで開催

二ブロックの研修会では、最初に講師の石川了英氏（連研中央 講師・富山教区水橋組玉永寺）

教区門徒総代会（藁島宗一郎会長）が主催するブロック別門徒総代研修会が、三月五日（月）に第四ブロック、六日（火）に第一ブロック、九日（金）に第二ブロック、十日（土）に第三ブロックと開催された。

今年度のテーマは『これからのお寺に何を期待し、どう関わっていくか』。これは、「門徒さんにとって寺院は本当に必要だと思っておられるのかだろうか」という意見や、逆に「住職方が総代さんに何を期待されておられるのか聞いてみたい」、などの意見が協議で出された。

社会状況や意識の変化に対応すべく寺院のあり方を変えていくには、お寺が抱える問題点を明らかにし、住職・門徒総代（世話役）が現状の課題を共有し、「このままではいけない」、「変えていかなくては」との共通認識を互いに持ち、仲間としての信頼関係を構築していくことが必要である。住職と門徒総代が共通の課題を共有するために、お寺の何をどう変えていけばいいのかが、ということについて話し合い、その方向性を考えてみる機会になればとのねらいが込められて今回の研修が行われた。

西本願寺高岡会館を会場に開催された第

「ブロックの研修会では、最初に講師の石川了英氏（連研中央 講師・富山教区水橋組玉永寺）から、「葬儀を内輪だけの家族葬で勤めることや、結婚式でも披露宴をしない場合も出てくるなど、人間関係がどんどん希薄になっていると感じることが増えている。そのことが寺離れの一因としてあるのだろうか、ご法儀そのものの受けとめ方の問題もあると思われる。建前では法儀相続のためのお寺と言いつつ、本音の部分ではその寺院を護持することが中心になっていないだろうか。お寺の何を变えていくべきか。」との問題提起があった。

班別の話し合いでは、「若い人はお寺に関心がなく、そんな若い人にこそお寺に来てもらえるようなことをしてもらいたい」「別居している若い世代に対し、お寺側から関係を築くような働きかけをしてもらいたい」といった教化活動に関することや、「門徒総代を父から子へと引き続いてもらってらっしゃるご家庭があるが、お寺に厳しい意見を言ってもらえる人にこそお願いすればどうか」「総代・世話役が集まる機会が少なく、住職と充分話し合うことができない」といった運営面などについて活発な意見交換がなされた。

全体会では、講師から、「私が以前、法話



実習で伺ったあるお寺は、住職が離れたところに生活している住職不在寺院であったが、総代方のお世話で満堂になっていた。その時、

門徒総代の役割は非常に大きいものと感じた。寺院には門徒中心型と住職中心型の二つの運営形態があるが、住職と総代が本音の部分で話し合い、変えていくべきところは変えていくようにしていくことが大切。しかし変えたらずれでいいというわけではなく、迎合となつてはいけない。生活の中に「ご法儀が息づくような伝道を門信徒に行っていくことができるような寺院のあり方を模索していくことが大切なのではないか」、などの助言があった。

総代会ではこのような研修会を継続して行うことの重要性を再認識し、これから社会の変化を見据え、お寺がどう変わっていくべきかについて住職と門徒総代が共通認識を築く機会となっていくよう研修内容を企画していきたいとしている。

## 弾き語り法話の会を開催

～寺女連盟若女性部会～

三月三日(土)、西本願寺高岡会館にて高岡教区寺院女性会連盟若女性部会の企画による「弾き語り法話の会」が開催されました。(参加者三十六名)この様子をご報告いただきました。

教区内の僧侶四名で結成されたバンドBonn(ボンスリー)の皆さんをお招きして、すてきな演奏と曲目からめてのお話が聴きやすく、ほのぼのとした法話会となりました。

ライブ演奏では、仏教讃歌「ひかりあふれて」のんのさまをはじめとして、「カントリーロード」「ルージユの伝言」「風になりたい」「みんな空の下」「ロックンロール・ウィドウ」など皆さんご存知の曲も多くあり、全十二曲が演奏



されました。なかでも印象に残ったのが、中島みゆきさんの曲「糸」によせての法話でした。一枚の布を織り成すための縦糸と横糸にあな

たと私の人間の出遭いをたとえて、糸の交わりに人と人とのつながり、すなわち縁を大切にしたいとお話にはこころがほろりとなりました。

またBonnの皆さんは、東日本大震災で被災された方に対して支援の要望が多い楽器を送るといふ活動を続けておられます。「楽器が生活を助ける実用品とはならないが、音楽はこころのプラグに点火し生きる力を生みだす原動力となりうることを信じて支援を続けたい。」と話されました。

演奏が進むにつれ会場内はリラックスしたムードにあふれ、曲間の法話にうなずきながら温かな時間が流れるのを実感できた一時間半となりました。

若女性部会では、研修会の目的を「まずは聴かせていただく時間をよるこび、大切にす」ことを主軸としてきました。今年度の研修会は全三回行われ、いずれも公開講座の形式をとり会員以外の参加も募集してきました。このたびの弾き語り法話の会では、音楽の持つ大きな力に後押しされ、多くの方々に関心をもってご来場いただくことができました。新しい形で聴かせていただくことができ、各自の学びも深まったことと思います。(寺院女性会連盟若女性部会)

## お知らせ

### 組長選挙並びに教区会議員選挙について

2012(平成24)年3月31日をもって、高岡教区各組組長・副組長並びに、教区会議員の任期が満了いたします。

宗門法規の教区規程・教区会規程には、組長並びに教区会議員の選挙は、「任期が満了した日の翌日これを行なうを例とする」と定められておりますので、4月1日が選挙日となります。

教区内各組組長様及び組内の皆様におかれましては、すみやかに選挙事務が行なわれますようご協力をお願いいたします。また、高岡教区教学財団評議員の任期も同時に満了となりますのでよろしくをお願いいたします。

尚、選挙事務の詳細につきましては、後日、組長会で説明をいたします。

以上

## 教区支援金現況について

高岡教区では支援金を募集し、それを財源として支援活動にまい進しております。

現在、120ヶ寺・60団体・有志14名様より総計で2,457,879円の支援金を頂いております。

また現在の残高は1,350,198円となっております。

皆さまのご協力で厚く御礼申し上げますとともに、引き続きご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

# 基幹運動のコーナー

## 中央推進委員会報告

本年度第二回の中央基幹運動推進委員会（以下・中央基推委）が、二月十六・十七の両日、本願寺門法会館で開催されました。中央基推委は例年六月と十二月に開催されていましたが、今回は宗法の改訂及び諸法規改訂の関係から、二度にわたる延期の末に開催されたもの。しかも基幹運動態勢の変更に伴い、「中央基幹運動推進委員会」としては最後となりました。

昨年五月に宗会（第二九八回臨時宗会）で「宗本分離」を骨格とする宗法など基本法規四法の変更と、その後の三回の宗会をへて宗派・本願寺の運用規定（宗則、本願寺法細則）などが変更されました。さらに、本年二月の宗会で「御同朋の社会をめざす運動に関する宗則」が決定され、運動名称のみにとどまらず「基幹運動」態勢が大きく変更されました。

今回の中央基推委初日は、「新運動態勢について」仲尾史峰総局公室長から、「次期運動計画について」季平博昭中央相談員からそれぞれ説明があり、協議会がもたれました。

運動態勢の変更について出席中央委員からは、中央相談員、教区相談員・専従員、組相談員などの基幹運動推進専従者の役割と位置づけがなくなっていること、中央・教区・組の委員任期を二年三期に制限していること、教区・組委員会委員数を若干名を具体的にどう解釈するのかなど、運動推進態勢の重要な変更に対する質問と、変更に伴う現場での混乱・停滞を危惧する意見が相次ぎました。

これらの意見・質問には担当総務、担当部長が回答しました。しかし、「若干名」とある委員総数の見解の食い違いや、運動推

進専従者の位置づけのなさの指摘に対し「宗則に基づき全員で取り組んでもらいたい」など抽象的の回答でした。さらに、教区・組委員会設置規則準則は宗会后でなければ提示できない、相談員経費などは次回宗会で予算化を申し入れたい、など具体性にかける回答に終始しました。

「次期運動計画」については本年度推進本部が開催した「次期基幹運動総合計画推進にかかる協議会」、「御同朋の願いに込める教学の構築についての協議会」報告を受け、策定したと説明されました。この中で「これまでの運動が体質を改めるという内向きの運動」との協議会報告を受け、「内向きの運動から公益性、外向かう運動」が必要との認識が強調されました。これに対し出席中央委員からは、「私たちの先人は（中略）御同朋・御同行と互いに敬愛し・・・」（次期運動計画）とあることから、「御同朋といえない現実を改めようと運動があったはず。慚愧は内向きなことなのか」など、次期運動計画の基本認識に対する疑義が表明されました。


二日目の中央基推委は、教区基推委からの、「運動のあり方についての建議」（四教区）、「脱原発の宗派声明をもとめる建議」などが了承され、総局に回付されました。

全般的に、昨年六月建議の報告で「推進本部で協議され重要であると確認された」とあるように、具体的な対応のない中央姿勢に対する驚きと、「教区基推委では、中央のどのような態勢変更に関わらず、教区のこれまでの運動態勢を継続する」（東海教区）に象徴される、中央不信、脱中央傾向に拍車がかかる今後を予兆させる二日間でした。

【高岡教区基推委常任委員 伯水永雄】



これからの日程 ( 3 / 2 0 ~ 4 / 2 0 )

|    |  |   |            |
|----|--|---|------------|
| 3月 |  |   |            |
| 20 | 雨晴苑追悼法要                                |   |            |
| 21 | 定期教区会<br>寺青声明サークル                      |  |            |
| 22 | 砺波組基幹運動研修会                             |   |            |
| 23 | 福光教堂役員会                                |   |            |
| 24 | さくら保育園卒園式                              |   |            |
| 26 | 基推全体会                                  |   |            |
| 28 | 長寿苑ビハーラ活動<br>教区コーラス練習日<br>新任保育士研修会・理事会 |   |            |
| 4月 |  |   |            |
| 4  | 寺青役員会<br>雨晴苑ビハーラ活動<br>仏壮総会             |   |            |
| 5  | 北陸同朋の会準備会<br>藤園苑ビハーラ活動                 |   |            |
| 7  | 中仏生のつどい<br>キッズサンガ公開講演会<br>仏婦常任委員会      |   |            |
| 11 | ゆうゆうハウスビハーラ活動<br>常例法座                  |   |            |
| 13 | 布教団総会                                  |   | 全国講社大会(本山) |
| 14 | 中仏生のつどい                                |   |            |
| 19 | 聖典セミナー(1回目)                            |   |            |
| 20 | 北陸同朋設立準備会                              |   |            |

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送 ( K N B ) ・ 7 3 8 k H z .  
毎週土曜日(本山制作)午前6:15～6:25  
第2・4日曜日(富山・高岡制作)午前6:00～6:10

- 3 / 1 0 ( 土 ) : 藤井 邦麿 氏 ( 大分県 ・ 正善寺 )  
「ご縁のままに」
- 3 / 1 1 ( 日 ) : 石川 聖子 氏 ( 富山教区 ・ 玉永寺 )
- 3 / 1 7 ( 土 ) : 藤井 邦麿 氏 ( 大分県 ・ 正善寺 )  
「凡夫の眼 仏の眼」
- 3 / 2 4 ( 土 ) : 藤井 邦麿 氏 ( 大分県 ・ 正善寺 )  
「お彼岸を迎えて」
- 3 / 2 5 ( 日 ) : 未 定 ( 富山教区 )
- 3 / 3 1 ( 土 ) : 藤井 邦麿 氏 ( 大分県 ・ 正善寺 )  
「念仏者のたしなみ」
- 4 / 7 ( 土 ) : 未 定
- 4 / 8 ( 日 ) : 未 定 ( 高岡教区 )
- 4 / 1 4 ( 土 ) : 未 定
- 4 / 2 1 ( 土 ) : 未 定

【西本願寺高岡会館4月の常例法座】

ご講師：奥田欣也 師

( 福井教区 ・ 教應寺 )

ご講題：『弥陀の誓願不思議』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時から  
お正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘い  
あわせてお参りください。

編集後記

東日本大震災から一年が経とうとしています。どのような一年だったのでしょうか。被災された方は、一日でも早く元の生活に戻れることを願っていることなのではないかと思います。この震災によって、自分さえよければ、周りの人はどうでもいいといった生き方や価値観があらためて問われている中、あいつも変わらず復興によって日本は発展していくんだとか、経済効果は何十兆円にもなるとかと、様々な報道がされています。

もちろん復興はとても大事ですし、豊かに暮らしたいというのが当然考えていくことかもしれません。しかし、そこに心が伴っていないのか、本当に被災者が望んでいることなのか・・・、時間の経過とともに、震災によって見直されてきたはずの私たちの生き方や価値観が元に戻るようなことがあってはならないと思うことです。

(担当)

お知らせ

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。

一袋二枚入りで価格は次の通り

一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱 ( 175袋 ) 7,000円

・大箱 ( 45袋 ) 2,000円

・小箱 ( 16袋 ) 900円

お申込み先は・・・〒933-0003 高岡市能町1298

耳浦 康真(本誓寺) Tel.&Fax.(0766)23-9822